

Report

能登半島派遣報告

会場 のと里山空港
能登事業者支援センター

応援経営支援員

当所支援グループ 深見 容弘



去る10月7日～11日の5日間、経営支援員の派遣要員として能登事業者支援センターへ行って参りました。今年の元旦に発生した能登半島地震で倒壊した建物等の解体も中々進めぬ中、9月の集中豪雨が更に追い打ちをかけ河川の氾濫による水害や仮設住宅の浸水被害への復旧作業があちらこちらで行われていました。輪島塗老舗の「五島屋」の倒壊したビルを目の当たりにした時は、大変なショックを受けました。そのような状況の中、少しでも中小企業様のお役に立てればとの思いで今回の派遣を希望しました。

現地での業務は「なりわい補助金」、「営業再開支援補助金」、「小規模事業者持続化補助金」など各種補助金の申請までに関わる事業者様からのヒアリングや書類等へのアドバイスをすることでした。相談内容は、ほぼ大半が「なりわい補助金」についてでしたが、これは申請に必要な書類が多く、申請書類の内容が十分理解できない事業者様もかなりおられるため、説明にかなり苦労しました。

その様な中で支援センターのスタッフの方々は、不安と焦り一杯でご来所される事業者様に更に不安感や戸惑いを与えぬよう懇切丁寧な対応を心がけており、長時間に渡る相談についても、根気強く相手に寄りそえるアドバイスに努めている姿勢が印象的で、私も大変刺激を受けました。